

“丸太杭” もうやめませんか？

ジュポールアンカー(JP)

当社が50年間支えつづけた電柱支柱を結集した実績NO.1の地下支柱！

ポイント 1

1. 多少硬い地盤でも専用工具でらくらく打込み
2. ワイヤーの張りで施工完了を確認

ポイント 2

1. どんな樹木に対しても強度計算から規格を決定
2. 規格外の樹木についても対応可能



ポイント 3

1. 幹のサイズに合わせ、調整しやすいワイヤー構造
2. 根の生育を妨げない穴あき押さえ構造
3. アンカー打込み作業と同時に根鉢を固定

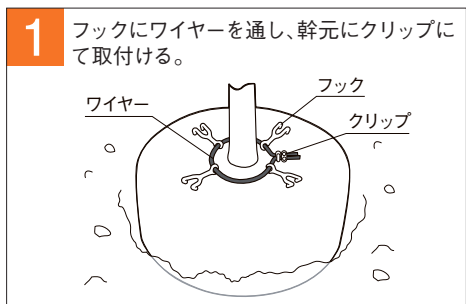
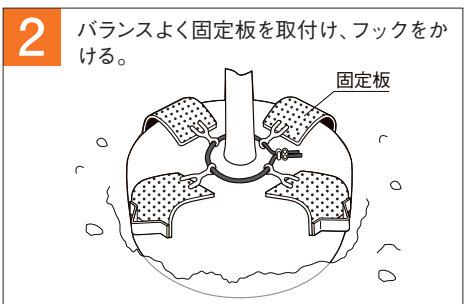
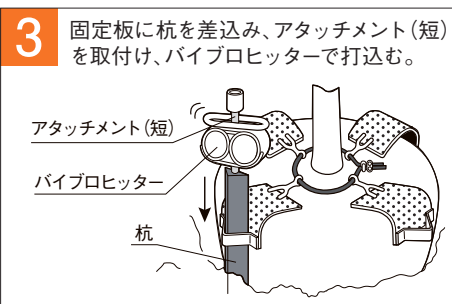
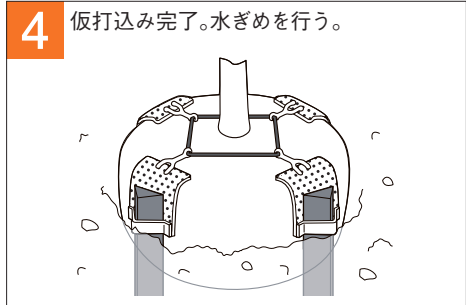
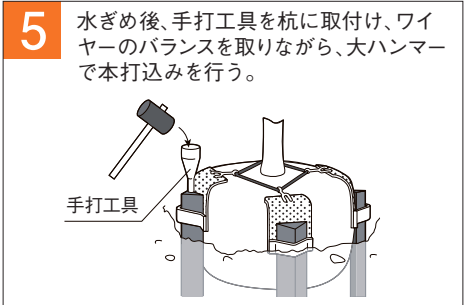
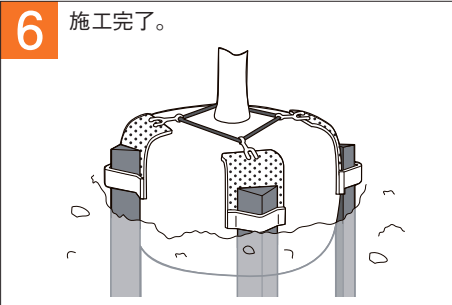
ポイント 4

1. 樹木の“たち”を決めてからでも施工可能
2. 不定形な根鉢（特に機械移植）でもぴったりフィット
3. 横に広がらない直進抗のため、狭小地でも施工可能

施工手順

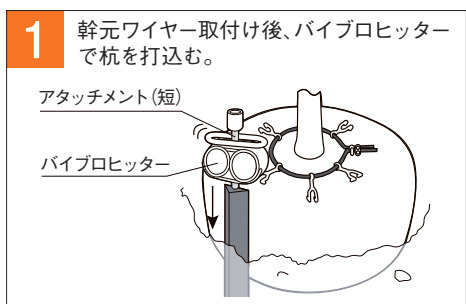
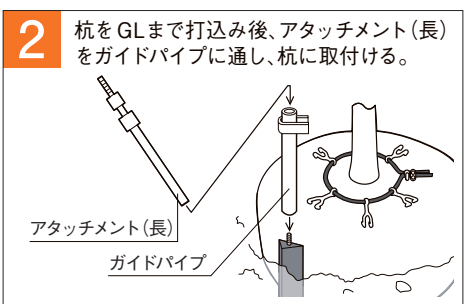
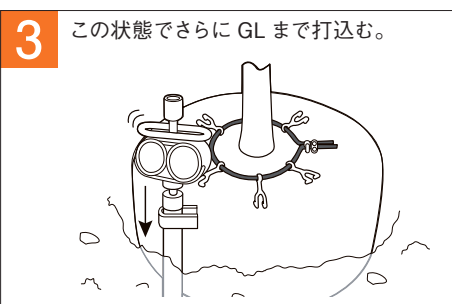
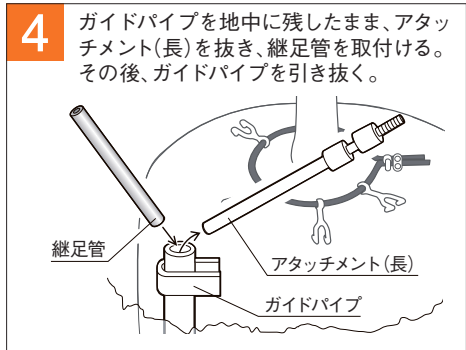
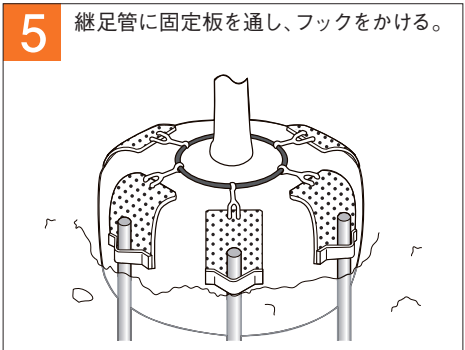
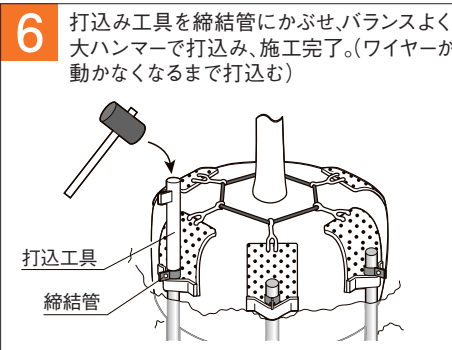
特殊な工具は一切必要ありません。ラチェットレンチ1本（サイズ17-19）、プラスチックハンマー等で施工完了！

JP1~4L

- 1 フックにワイヤーを通し、幹元にクリップにて取付ける。

- 2 バランスよく固定板を取付け、フックをかける。

- 3 固定板に杭を差込み、アタッチメント（短）を取付け、パイプロヒッターで打込む。

- 4 仮打込み完了。水ぎめを行う。

- 5 水ぎめ後、手打工具を杭に取付け、ワイヤーのバランスを取りながら、大ハンマーで本打込みを行う。

- 6 施工完了。


【増締管理】根鉢の横に打込んだ杭の頭にネジがついています。そこに 5 の手打工具をセットして打込み、増締してください。

JP-6~18

- 1 幹元ワイヤー取付け後、パイプロヒッターで杭を打込む。

- 2 杭をGLまで打込み後、アタッチメント（長）をガイドパイプに通し、杭に取付ける。

- 3 この状態でさらに GL まで打込む。

- 4 ガイドパイプを地中に残したまま、アタッチメント（長）を抜き、継足管を取付ける。その後、ガイドパイプを引き抜く。

- 5 継足管に固定板を通し、フックをかける。

- 6 打込み工具を締結管にかぶせ、バランスよく大ハンマーで打込み、施工完了。（ワイヤーが動かなくなるまで打込む）


【増締管理】 6 のように増締め用の締結管があるので、その部分の土もしくは植物を移動し、大ハンマーでワイヤーが動かなくなるまで打込み、増締してください。

【増締回数目安】

●1 回目：水詰め終了後、水が完全に引いてから（半日～1日経過後）※雨天時は翌日 ●2 回目：お引渡し前 ●3 回目：台風シーズン前（7月） ●4 回目：台風シーズン後（9月末）

規格表

※下表は目安となります。正確には都度、強度計算により規格選定いたします。

	樹高 (m)	目通幹周 (m)		樹高 (m)	目通幹周 (m)
JP- 1	～2.5	～0.15	JP- 6	～ 8.0	～0.65
JP-2S	～3.0	～0.20	JP- 8	～10.0	～1.00
JP-2M	～3.5	～0.25	JP-10	～11.0	～1.10
JP- 3	～4.5	～0.35	JP-12	～11.5	～1.15
JP-4S	～5.0	～0.40	JP-14	～13.0	～1.30
JP-4M	～6.0	～0.50	JP-16	～14.0	～1.40
JP-4L	～7.0	～0.60	JP-18	～14.0	～1.50